

前年同期比 増収増益

- **売上高**：前年同期比8%増、全事業セグメントで増収

EMS事業における工作機械関連の需要減少や、下期後半に入り国内顧客の減産や海外生産の計画後ろ倒しなどによる影響があったものの、すべての事業セグメントにおいて前年同期比で増収

- **営業利益**：前年同期比68%（1.7倍）増、HS事業で大幅増益

- ・ HS事業：前年度立ち上げた物流3PL受託・テクニカル流通加工事業や技術者派遣専門会社、海外事業の収益改善が進み、セグメント利益は前年同期比で3.5倍
- ・ EMS事業：工作機械関連需要減やベトナム・メキシコ拠点立ち上げコスト等があり前年同期比では減益だが、計画に対しては想定どおり
- ・ PS事業：抜本的コスト構造改革を断行、部材価格高騰による売価是正効果もあり増益

- **トピックス**：戦略投資を継続実行

- ・ ソニー株式会社から事業譲受した、米国・メキシコ事業が4月1日から新たな体制でスタート
- ・ EMS事業のベトナム拠点は第2工場建設に着手、日系企業のASEAN生産移管ニーズに対応

1. 2020年3月期 通期業績ハイライト

(単位：百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期		
		実績	前年同期比	主なポイント
売上高	57,759	62,611	8.4%	【売上高】 全事業セグメントにおいて増収
営業利益	548	920	67.8%	【営業利益】 HS事業、PS事業：増益 EMS事業：工作機械関連需要減やベトナム・メキシコ拠点立ち上げコスト等あり前年同期比では減益だが、想定どおりで推移
経常利益	569	541	△4.8%	【経常利益】 営業外収益 274百万円 (前年同期比 268百万円減) 営業外費用 653百万円 (前年同期比 131百万円増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	415	280	△32.5%	【特別利益】 193百万円 (前年同期比 79百万円減) 【特別損失】 48百万円 (前年同期比 99百万円減)

2. セグメント別業績ハイライト

(単位：百万円)		2019年3月期 実績	2020年3月期		
			実績	前年同期比	主なポイント
HS事業	売上高	19,331	21,685	12.2%	需要は堅調に推移、前年度立ち上げた物流3PL受託・テクニカル流通加工事業や技術者派遣専門会社、海外事業の収益改善が進み、大幅増益
	セグメント利益	196	693	253.2%	
EMS事業	売上高	25,819	27,046	4.8%	工作機械関連需要減影響や、海外白物家電部品増産対応による生産性悪化、ベトナム・メキシコ拠点の立ち上げコストがあったが計画に対しては想定どおりで推移
	セグメント利益	436	33	△92.3%	
PS事業	売上高	12,608	13,879	10.1%	抜本的コスト構造改革の継続実行や部材価格高騰による製品売価是正に加え需要堅調による販売増加あり、増収増益
	セグメント利益	443	698	57.6%	
調整額	セグメント利益	△527	△505	—	当社（持株会社）に係る全社費用 * 持株会社化に伴い、当費用は各セグメントに配分せず「調整額」に区分
合計	売上高	57,759	62,611	8.4%	
	セグメント利益	548	920	67.8%	

* HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業

売上高

21,685百万円

前年同期比 12.2%増

セグメント利益

693百万円

前年同期比 253.2%増

【事業母体】

日本マニファクチャリング
サービスグループ



国内

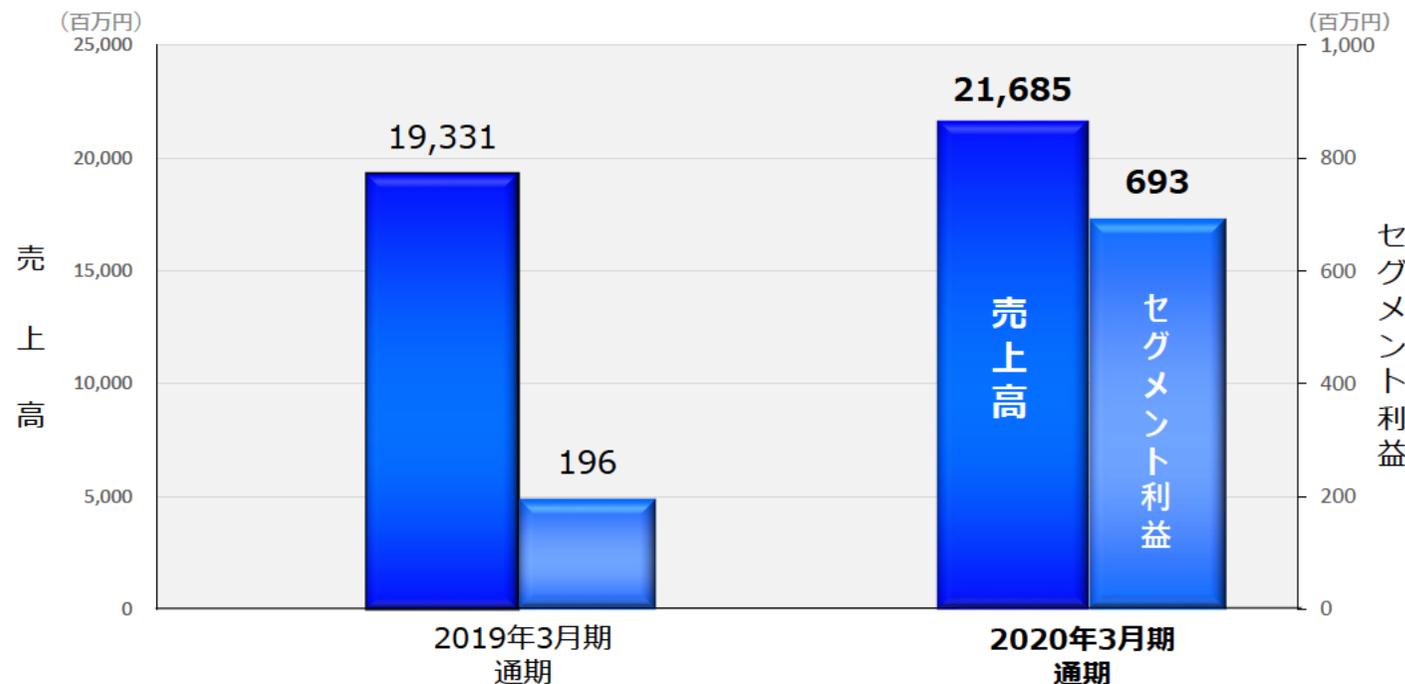
製造派遣・製造請負事業は、新卒採用や外国人技能実習生の活用に注力、物流3PL受託・テクニカル流通加工事業、技術者派遣専門会社も堅調に推移



海外

インドネシア、ラオスにおける事業立ち上げコストがあったものの、人材ビジネス+製造受託を行なうベトナム拠点 (NMS VIETNAM CO.,LTD.) の労働生産性が改善傾向となり、ASEAN、中国ともに概ね堅調に推移

国内、海外ともに事業規模拡大につながる戦略を順次実行、早期の成果刈り取りを進め収益性向上を図る



売上高

27,046百万円

前年同期比 4.8%増

セグメント利益

33百万円

前年同期比 △92.3%減

【事業母体】

- ・志摩電子工業グループ
- ・TKRグループ



国内

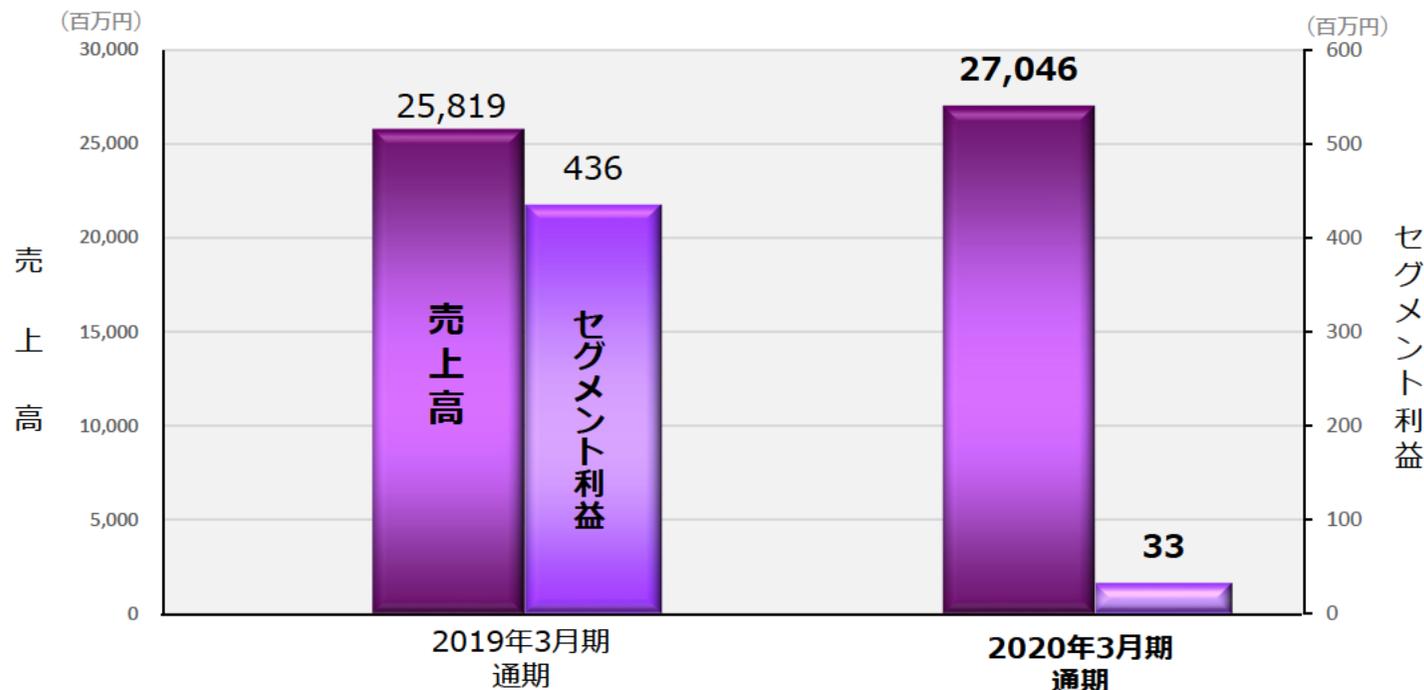
米中貿易摩擦やこれに起因した国内生産調整等による工作機械関連の需要が減少



海外

白物家電関連を中心にASEAN・中国における需要が引き続き堅調に推移
ベトナム・米国・メキシコ拠点の事業立ち上げに係る先行投資コスト等により
前年同期比では減益となったものの、全体としては計画どおりに推移

株式会社テーケアール（TKR）：中国、マレーシアに続き、2019年4月にベトナム新工場が完成、2019年4月1日からはソニー株式会社から譲受した米国及びメキシコ事業がスタート
米中貿易摩擦による影響等、お客様の生産多極化に対応し、グローバル事業体制の拡充を推進



売上高

13,879百万円

前年同期比 10.1 %増

セグメント利益

698百万円

前年同期比 57.6%増

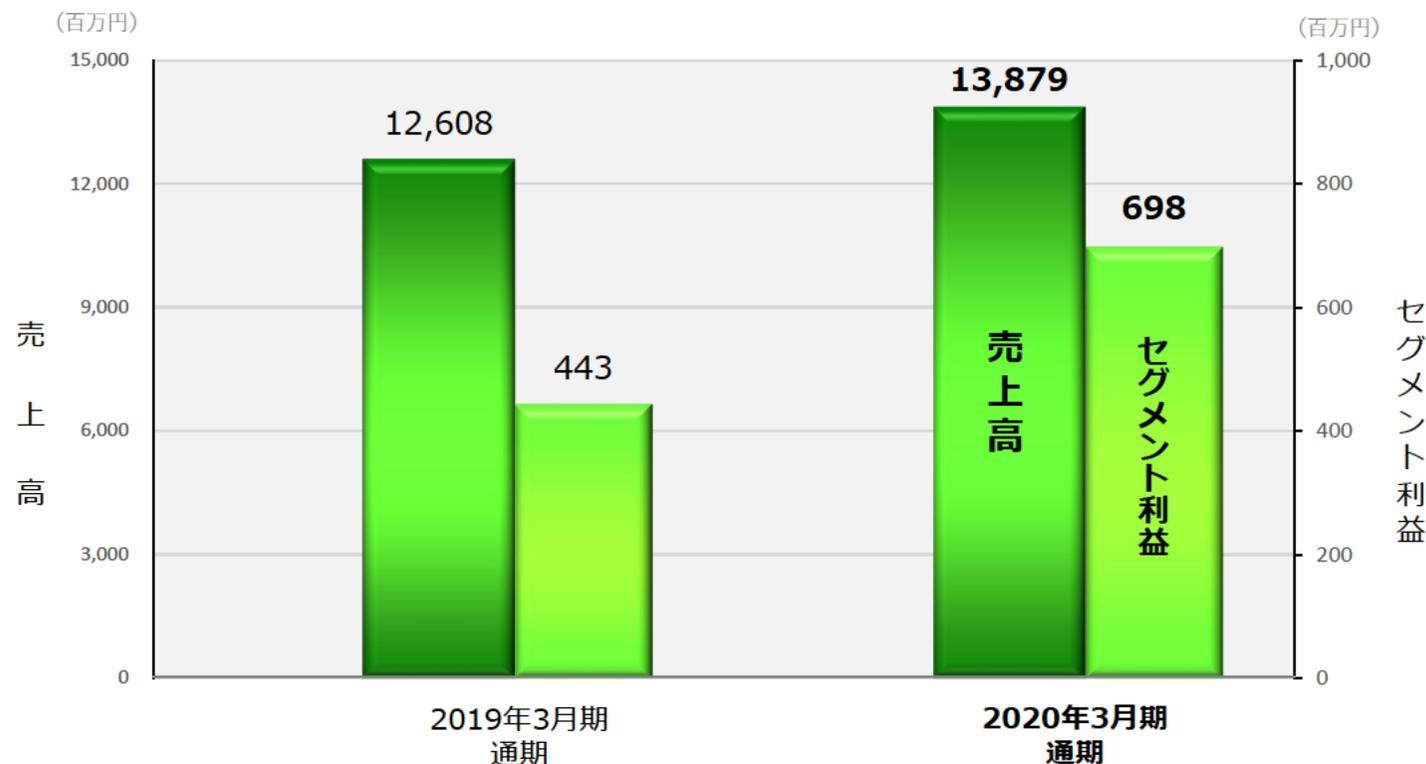
【事業母体】

パワーサプライテクノロジー株式会社

全体

- ・既存製品の需要調整や、新規分野への製品投入までの端境期を脱し、新規受注の量産化が順次スタート、需要は堅調に推移
- ・事業基盤の再構築に向けた抜本的コスト構造改革の実行に加え、前事業年度に発生した急激な部材調達価格の上昇に対する売価是正もあり、前年同期比で増益

これまで培ってきた電源技術を活かした新製品開発や新たな市場分野の開拓も進め、「基盤強化」と「新製品」の両輪で売上・利益の拡大をめざす



3. 業績ハイライト (B/S)

(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期	増減	主なポイント
流動資産	22,082	23,115	+1,033	現預金 △69 売上債権 +1,051 在庫 △71
固定資産	7,380	10,288	+2,908	
有形固定資産	5,612	8,060	+2,447	
無形固定資産	540	1,095	+555	
投資その他の資産	1,227	1,133	△94	
繰延資産	—	66	+66	社債発行費
資産合計	29,462	33,470	+4,007	
負債合計	23,717	27,620	+3,902	
流動負債	21,744	16,290	△5,454	【借入金残高】 20/3末 13,776 19/3末 14,286
固定負債	1,973	11,330	+9,356	
純資産合計	5,744	5,849	+104	
負債・純資産合計	29,462	33,470	+4,007	

4. 業績ハイライト (C/F)

(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期	主なポイント
税金等調整前当期純利益	694	686	
減価償却費	828	1,169	
運転資金の増減	△1,852	△861	売上債権 △1,062 在庫 245 仕入債務 △45
その他	△942	822	
営業キャッシュ・フロー	△1,272	1,816	
固定資産の取得・売却	△1,943	△2,002	売却収入 72 取得支出 △2,075
その他	△156	△830	事業譲受 △845
投資キャッシュ・フロー	△2,100	△2,833	
フリーキャッシュ・フロー	△3,372	△1,016	
借入金の増減	3,676	△484	
配当金支払 他	△521	1,461	配当金 △85
財務キャッシュ・フロー	3,154	976	
現金及び現金同等物期末残高	4,195	4,156	

- 当連結会計年度末の手元流動性残高は、現金及び現金同等物4,156百万円
- これに加え、当連結会計年度において、当社グループの所要資金及びリファイナンス等に充当するため、金融機関より6,426百万円の資金調達を実行、2020年3月31日に第1回無担保社債を発行し、2,000百万円の資金調達を行っており、十分な資金を確保できる体制を整えている
- また、当社グループは2019年3月期から戦略投資を実行しているが、2021年3月期においては需要動向を勘案し、追加となる投資計画については見極めを行っている
- グループにおける資金調達は当社（持株会社）に一元化し効率を高めるとともに、グループにおける資金還流のしくみも強化し、資金の確保に努めていく

6. 2021年3月期 業績予想・配当予想

- 当社グループの国内事業においては、自動車関連分野は世界各地域における減産の影響が国内生産へ波及する一方で、半導体・電子部品関連は生産計画を維持、繁忙な業種では人手不足が続いており当社グループが提供する技術者派遣においては計画を維持しながら推移する見込み
- 海外事業は、中国、マレーシアをはじめとする当社グループすべての拠点が順次稼働を再開しており、部材や物流等、サプライチェーンの停滞は解消されつつあるが、国境を越えた人の移動制限による、お客様との新製品立ち上げや生産開始スケジュールの遅れ、物流コスト上昇などによる影響が見込まれる
- 以上のことから、2021年3月期は第2四半期累計期間（4月-9月）は世界経済の停滞による需要低迷や、各国・地域における顧客の生産調整や稼働停止による影響があるものの、第3四半期、第4四半期においては、各国・地域における景気刺激策の効果もあらわれ、下期は当社グループ拠点の稼働水準も正常化するものと見ている
- しかしながら、業績予想及び配当予想については、新型コロナウイルスによる各国・地域の経済動向や、これに関連する国内生産動向への影響及びこれらが当社グループ業績に与える影響を現段階で見通すことが難しいため、今後影響等を慎重に精査し、予想を合理的に算出することが可能となった時点で配当予想と併せ、速やかに開示する
- 厳しい事業環境が続く様相だが、グループ全体で、間接コストの引き下げを進めるとともに、業務の見直しによる生産性改善も行い、売上減による利益影響を最小限に留めていくとともに、生産が繁忙な業界・お客様への人材ソリューションの提供を拡大させ、売上・利益の確保に努めていく
- また、世界経済の停滞を背景に、製造業のファブレス化はますます加速していくと見ており、グループ内ノウハウも活用した請負・受託の拡大を図り、経営環境改善時に備えた施策を実行し、次につながる取り組みを展開していく

7. 新型コロナウイルス感染拡大の影響による各事業の状況 (2020年5月15日時点)

セグメント	概況	
国内事業	自動車関連は世界的減産の影響が国内にも波及しており、お客様の減産影響が今後でてくる見込みだが、車載系を除く半導体・電子部品関連は生産計画を維持している。通信系製造や一部物流など繁忙な業種では人手不足が続いており、開発系の技術者派遣も現状計画線で推移する見込みだが、世界的な需要減速による先行き不透明感が強い状況。売上減による影響は固定費削減等の緊急施策を実行し最小限に留めていく	
海外事業	各国・地域の拠点はすべて稼働を再開、上期に売上減による影響がある見込み	
HS事業	中国	上海・深圳・広州・無錫拠点のいずれも業務再開、お客様の動向を見ながら水準回復中
	タイ・ベトナム他	政府方針に則り業務推進、お客様の生産動向を見ながら稼働対応
EMS事業	中国	2月10日より通常稼働、部材や物流などサプライチェーンの停滞は解消されているが、国境を越えた人の移動制限による、お客様との新製品立ち上げや生産開始スケジュールの遅れ、物流コストの上昇などによる影響が見込まれるため固定費の見直しなどの対応を実施
	マレーシア	政府方針に則り3月18日より稼働を停止、5月4日から徐々に稼働を再開しているが約1か月半の稼働停止及びお客様の生産調整・需要減速による売上減の影響がある見込
	ベトナム	生産は継続しているが、国境を越えた人の移動制限による、お客様との新製品立ち上げや生産スケジュールの遅れなどにより低水準の稼働となっており、新規受注の生産立ち上げに加え投資計画の見直しも行い影響を抑えていく
	米国	オフィス、ロジスティクス機能とも問題なく稼働、間接人員は在宅勤務を推奨
	メキシコ	政府方針に則り4月2日より稼働を停止していたが、5月11日より稼働再開が承認された分野（カテゴリー）から順次生産を再開、20年度は先行投資時期であり業績寄与は21年度からのため、売上減等による影響はない見込
PS事業	中国	2月10日より通常稼働、お客様の稼働停止により売上減による影響がある見込み 固定費の見直しなどの緊急施策を行い、影響は最小限に抑制する

nms ホールディングス株式会社

<http://www.n-ms.co.jp/>

本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円（2020年3月31日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（JASDAQ市場） 証券コード 2162
グループ社員数	12,945名（2020年3月31日現在）
事業内容	ヒューマンソリューション（HS）事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業 パワーサプライ（PS）事業 におけるグループ事業統括および経営管理等
連結子会社数	海外18社含む26社（海外10カ国にグローバル展開）
主な連結子会社	日本マニファクチャリングサービス株式会社（HS事業） 株式会社志摩電子工業（EMS事業） 株式会社テーケアール（EMS事業） パワーサプライテクノロジー株式会社（PS事業）

(参考) これまでの歩み：人材ビジネス+モノづくりで事業拡大

HS事業
からスタート

海外展開へ

最先端技術の根幹を支える
アナログ技術に着目

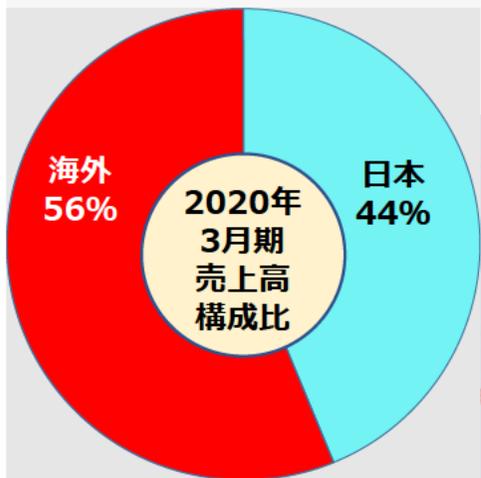
EMS・PS事業を
M&Aで獲得
モノづくり分野へ進出

北中米へ進出

新たなステージへ

9月	製造分野を中心とした請負事業を目的に株式会社テスコを設立	1985	
9月	商号を日本マニファクチャリングサービス株式会社に変更	1999	10月 テクノブレーション株式会社アウトソーシング事業部の営業権を譲受
		2000	
		2003	4月 中国北京市に北京オフィスを開設
7月	北京日華材創国際技術服務有限公司を設立	2004	
		2005	4月 日本人技術者派遣事業を開始
		2007	
10月	JASDAQ証券取引所へ上場 (現東京証券取引所JASDAQ市場)	2008	7月 ベトナムホーチミン市に駐在員事務所を開設
		2010	
7月	EMS企業の株式会社志摩電子工業を子会社化	2011	7月 EMS企業の株式会社テークアールを子会社化
8月	NMS International Vietnam Company Limited 設立(外資初の構内製造請負事業許可を取得)		9月 中基衆合 無錫分公司を設立
12月	北京中基衆合国際技術服務有限公司(中基衆合)を設立(外資初の中国国内労働派遣営業許可取得)	2012	
1月	中基衆合 深圳分公司を設立	2013	3月 中基衆合が中国政府系人材サービス会社を子会社化
7月	中基衆合が中国河南省政府系機関と業務提携	2014	10月 テークアールが株式会社日立メディアエレクトロニクスより電源・トランス事業等を譲受
		2015	3月 兼松株式会社と資本業務提携
5月	中国製造請負研究プロジェクトに参画	2016	1月 ベトナムにNMS VIETNAM CO., LTD.設立
8月	日本通運株式会社と業務提携		3月 カンボジア駐在員事務所設立
9月	タイにnms(Thailand) Co.,Ltd.を設立、派遣事業を開始	2017	7月 ベトナム工場、製造受託開始
10月	パワーサプライテクノロジー株式会社発足、パナソニック株式会社から一般電源事業を譲受し新たな体制で事業運営開始		7月 nms(Thailand) Co., Ltd.がカンボジア現地企業と業務提携
12月	カンボジア人材会社2社とタイへの派遣事業で業務提携	2018	7月 テークアールがTKR MANUFACTURING PHILIPPINES INC.設立
	nms ホールディングス発足	2019	1月 パワーサプライテクノロジー社EV分野の製品開発・製造拠点「松阪工場」を開設
7月	ラオスにNMS Lao Sole Co., Ltd設立		5月 テークアールがTKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.を設立
8月	株式会社日本技能教育機構(JATEO)設立		6月 nmsロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社設立
			10月 インドネシアにPT. nms Indonesia設立
3月	TKR USAがソニー株式会社の米国法人 Sony Electronics Inc.の事業部門 Sony Service and Operations of Americasの機能及び事業、並びにメキシコ生産拠点を譲受		12月 テークアールがTKR USA, Inc. を設立
4月	テークアールがTKR DE MEXICO S.A. de C.V.にて事業展開開始		

各事業の特長を融合させ、新たな需要を獲得



中国・香港

HS

EMS

PS



北京日華材創国際技術服务有限公司 (日華材創)
 中基綜合(上海) 人力资源服务有限公司 (中基綜合)
 無錫分公司 深圳分公司 上海第1分公司
 東莞分公司 広州分公司

中宝華南電子(東莞) 有限公司
 中宝華南電子(佛山) 有限公司
 中宝華南電子(佛山) 有限公司 深圳分公司
 中宝華南電子(佛山) 有限公司 蘇州分公司

TKR HONG KONG LIMITED
 Power Supply Technology CO.,LTD. HONG KONG Branch

タイ・カンボジア・ラオス

HS

PS



nms(Thailand) Co.,Ltd.
 Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd.



Representative office of nms (Thailand) Co.,Ltd.



NMS Lao Sole Co., LTD.



ベトナム

HS

EMS



NMS INTERNATIONAL RESOURCES CO.,LTD.
 NMS VIETNAM CO., LTD.
 TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD

アメリカ・メキシコ

EMS



TKR USA, Inc.



TKR DE MEXICO S.A. de C.V.

マレーシア

EMS



SHIMA ELECTRONIC INDUSTRY(MALAYSIA)SDN.BHD.
 TKR MANUFACTURING (MALAYSIA) SDN. BHD.
 TKR PRECISION (MALAYSIA) SDN. BHD.

インドネシア

HS



PT. NMS CONSULTING INDONESIA

「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。



HS

ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を
知り尽くした人材が
日本やアジア各地域で活躍

事業主体

日本マニュファクチャリングサービス

EMS

エレクトロニクス
マニュファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する
トータルソリューションを実現

事業主体

テークイアール
志摩電子工業

PS

パワーサプライ事業

電源専門メーカーの技術力で
ワンランク上のソリューションを提供

事業主体

パワーサプライテクノロジー

主なグループ会社	進出国・地域	主な事業内容
ヒューマンソリューション事業 (HS事業)		
<ul style="list-style-type: none"> ・日本マニファクチャリングサービス株式会社 ・株式会社日本技能教育機構 ・nmsロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社 ・中基縦合(上海)人力資源服務有限公司 ・NMS VIETNAM CO., LTD. ・nms (Thailand) Co., Ltd. ・PT. NMS CONSULTING INDONESIA 他 	日本 中国 ベトナム タイ、ラオス インドネシア カンボジア	国内/海外におけるマニファクチャリングサービス全般 <ul style="list-style-type: none"> ・製造受託事業(請負[構内受託]、受託製造派遣・紹介) ・IT生産系エンジニアリング事業(派遣・紹介) ・IT・設計開発エンジニアリング事業(派遣・紹介・受託) ・テクニカルサービス事業(各種リペア・リワーク・解析等/カスタマーサービス全般) ・ロジスティクスサービス事業(物流3PL/流面加工/派遣) ・外国人技能実習制度に関わる入国後教育研修の受託及び実習生受け入れ先への業務支援
エレクトロニクス・マニファクチャリング・サービス (EMS事業)		
<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社志摩電子工業 ・株式会社テーケイアール ・株式会社テーケイアールマニファクチャリングジャパン ・中宝華南電子(東莞)有限公司 ・TKR MANUFACTURING (MALAYSIA) SDN.BHD. ・TKR PRECISION (MALAYSIA) SDN. BHD. ・TKR MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD. ・TKR USA, Inc. ・TKR DE MEXICO S.A. de C.V. 他 	日本 中国 マレーシア ベトナム 米国 メキシコ	<ul style="list-style-type: none"> ・電子機器製造受託サービス (基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立等) ・電子機器修理サービス ・車載関連機器・部品の設計・開発・製造 ・省力化関連装置・機器の設計・開発・製造
パワーサプライ事業 (PS事業)		
<ul style="list-style-type: none"> ・パワーサプライテクノロジー株式会社 ・中宝華南電子(佛山)有限公司 ・株式会社テーケイアール ・TKR HONG KONG LIMITED ・Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd. 	日本 中国 香港(中国) タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・カスタム電源(低圧電源、高圧電源)の開発・設計・製造・販売 ・マグネットロールの開発・設計・製造・販売 ・各種トランス(スイッチングトランス、高圧トランス)開発・設計・製造・販売 ・電池マネジメントシステム関連製品の開発・設計・製造・販売

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ
nms ホールディングス株式会社
広報・IR部 Tel:03-5333-1737
E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp

